



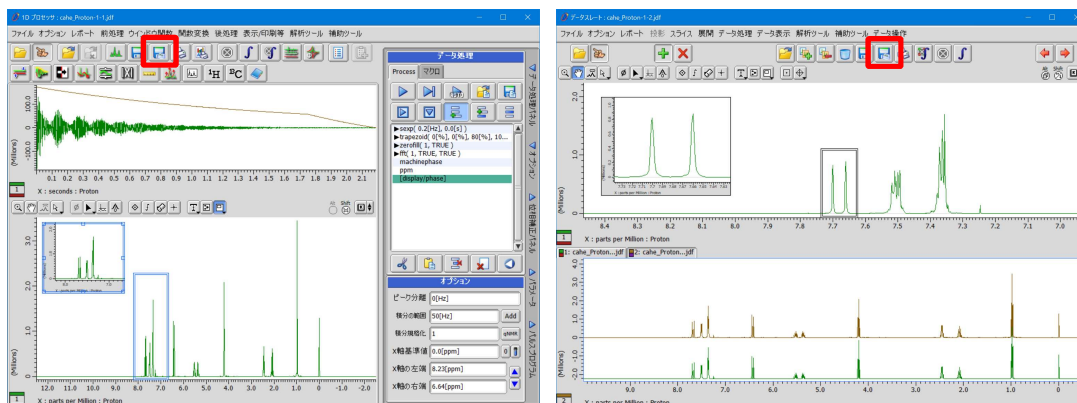
Delta V6.0では、「データスレート」ウインドウのマルチビューデータや複数スペクトルデータをまとめて一つのファイルに保存することができます。「2Dビューウ」ウインドウに適用した一次元データについても同様に一括で保存することができます。

「1Dプロセッサ」および「データスレート」ウインドウについて:

-  ボタンをクリックする。

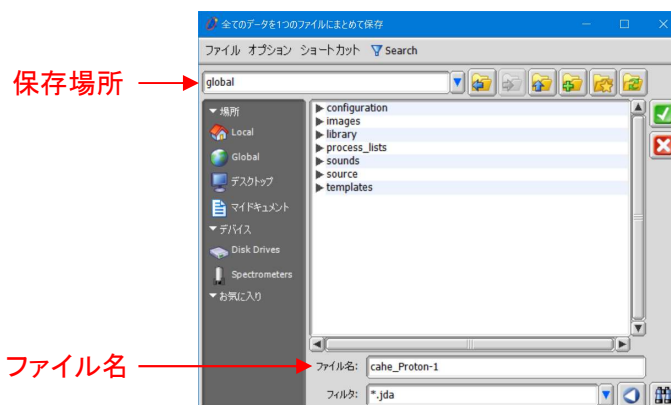
⇒ 「1Dプロセッサ」もしくは「データスレート」ウインドウ上に表示されたデータが一つのファイル(jda)に保存されます。

- ★ ファイル名は同様です。同じ名前のファイルが存在する場合、バージョン番号が一つ繰り上げられます。




- Alt +  ボタンをクリックする。

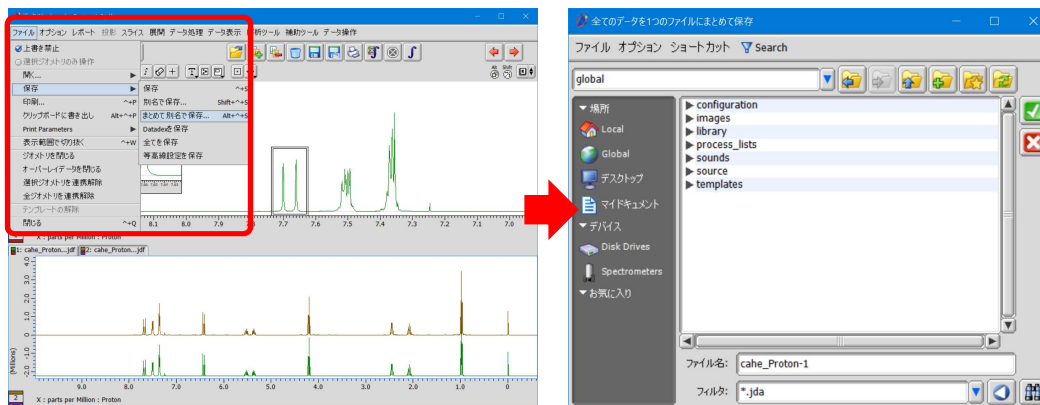
⇒ 「全てのデータを1つのファイルにまとめて保存」ウインドウが表示されます。保存場所およびファイル名を設定し保存することができます。





● メニューバー[ファイル]-[保存]-[まとめて別名で保存]を選択する。

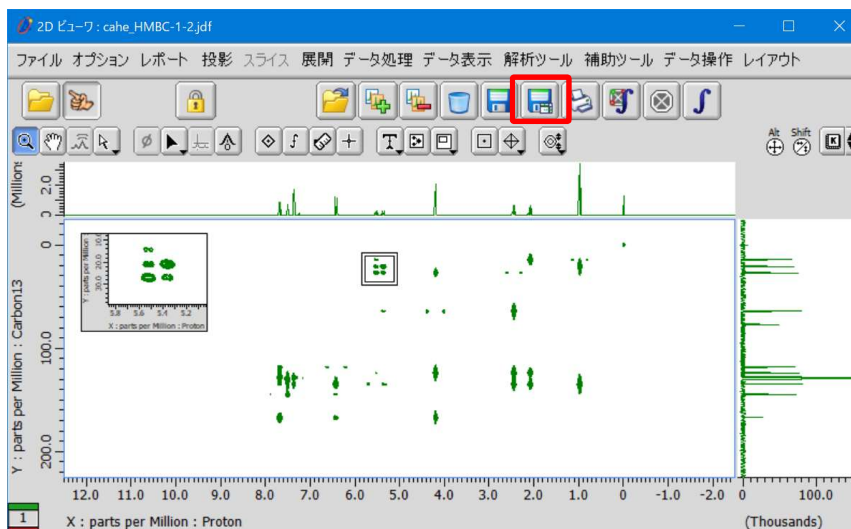
⇒ Alt +  ボタンと同様です。「全てのデータを1つのファイルにまとめて保存」ウインドウが表示されます。保存場所およびファイル名を設定し保存することができます。





「2Dビュー」ウインドウについて:

●  ボタンをクリックする。

⇒ 「2Dビュー」ウインドウ上に表示された1次元データやマルチビューデータが一つのファイル(.jda)に保存されます。



★  ボタンについても  ボタンと同様、Alt + で別名での保存が可能です。また、メニューバー[ファイル]-[保存]-[まとめて別名で保存]も同様に使用できます。